

柿のヘタを有効活用するための品質評価

- 和歌山県は、柿の産地で、収穫量は全国1位
- 柿のヘタは「シテイ」という生薬で、国内で751kg/年使用されているが、すべて中国産



国産柿のヘタを「シテイ」として利用できないか

○シテイ（柿蒂）について

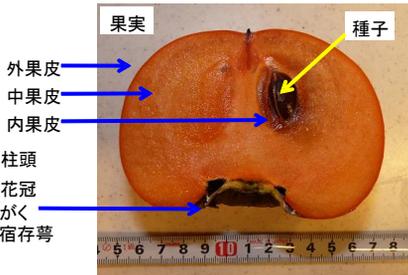
- 基原：カキノキ *Diospyros kaki* Thunberg (*Ebenaceae*) の成熟した果実の宿存したがく
- 漢方処方用薬として柿蒂湯及び丁香柿蒂湯に配合され、吃逆（しゃっくり）などの治療に用いられている
- 民間薬としても古くから柿のヘタ（宿存したがく）を煎じて、しゃっくり止めとして用いられている
- 胃癌や肺癌患者の吃逆や難治性吃逆に効果的であるとの報告があり、医療機関ではシテイ単味で煎じて使用されることが多い

○評価項目

- 日本薬局方外生薬規格
- 含有成分
- その他（質量と肉厚）



雌花



柿蒂(宿存萼)

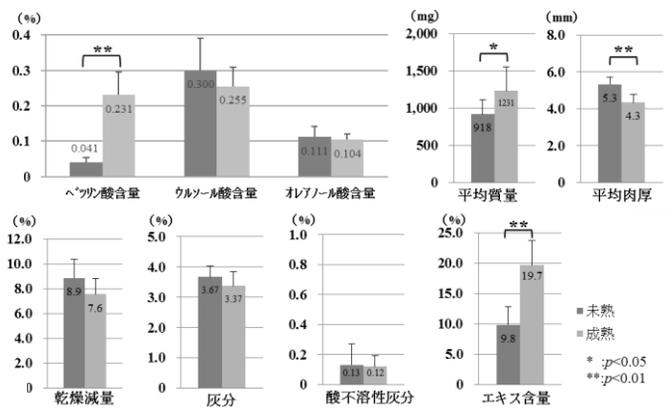


スケール1cm

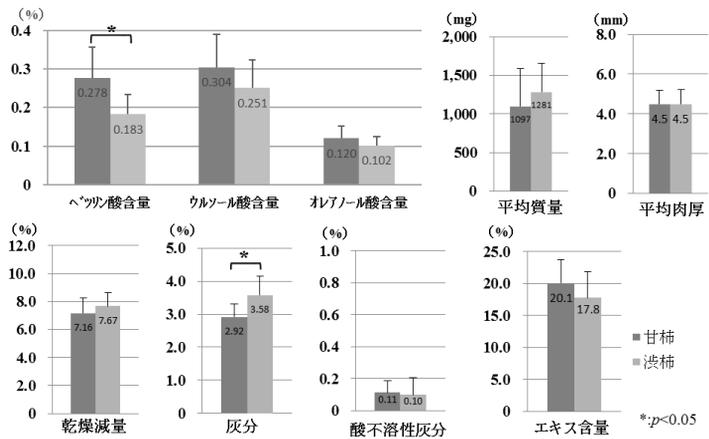


スケール1cm

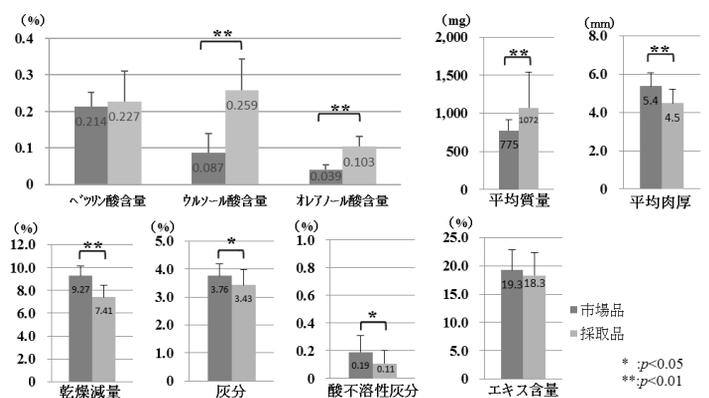
○国産の未熟柿と成熟柿の比較



○国産の甘柿と渋柿の比較



○市場品（中国産）と国産の比較



和歌山県産の柿のヘタは「シテイ」の規格を満たしている